専修大学心理教育相談室個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)

専修大学心理教育相談室(以下「相談室」といいます。)は、来所者との信頼関係の下、心理臨床教育及びその実践を行うため、専修大学心理教育相談室個人情報保護方針を下記のとおり定めます。

この方針は、相談室の来所者のみならず、相談室の全ての室員及び相談室と関係のある全ての関係者の個人情報についても以下の項目に従って同様に扱います。

(1) 法令等の遵守

相談室では、従来から来所者の個人情報の保護を行ってきましたが、平成29年5月30日に改正施行された個人情報保護法及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号。平成29年2月28日一部改正)に基づき、改めて来所者から取得した個人情報を適正に保護・管理し、その求めに応じて、個人情報保護法第28条第2項に定める場合を除き、個人情報の提供・開示を行います。

(2) 利用目的

来所者から取得した個人情報は、以下の目的に利用します。個人情報は、本来の利用目的の範囲を超えては使用しません。以下の目的に利用する場合は、個人を識別したり、特定したりできない状態*1で利用します。

- a. 相談活動の際に取得した氏名・性別・生年月日・学年・住所・連絡先・学校名・勤務先・家族構成・受診歴・相談歴・相談内容などの個人情報は、相談室での相談活動のために、来所者の同意を得た範囲でのみ利用します。
- b. 全ての個人情報について、心理臨床的立場から秘密を固く守り、来所者の福利のために相談活動において利用します。
- c. 来所者の同意を得た場合は、法令、心理臨床の守秘義務の範囲内で利用します。
- d. 来所者の問題を解消するために、個別の相談内容や問題などの検討のために利用します。
- e. 相談室の役割の一つである、心理臨床実習教育の研修のために利用します。
- f. 相談室の役割の一つである、大学院教育の一環として、公認心理師育成と臨床心理士育成の役割を履行するために、教員や公認心理師、臨床心理士などの指導の下に臨床心理学の専門的訓練を受けている大学院生が、相談活動(行動観察・相談の担当)・面接の陪席などで知り得た情報を、実習教育のためにまとめたり報告書として作成し研修の場で発表したりする場合に利用します。
- g. 心理臨床活動や相談活動の質の向上を目的とした、相談室での事例研究のために利用します。
- h. 相談員の研修や技術の研鑽のため、相談室の刊行物や専門家の間の学術研究などへの掲載を行う場合に利用します。
- i. 学術的な目的で統計処理を行う場合に利用します。

(*1 単に個人の名前などの情報のみを消し去ることで匿名化するのではなく、あらゆる方法をもってしても情報主体を特定できない状態にされていることをいいます。)

(3) 第三者への提供

- a. 相談員は、来所者の問題解決のために、相談室が必要と判断した場合に他の関連機関との連絡や連携を行う場合があります。その際に基礎となる個人情報の共有が必要となります。その場合には、以下に続く内容に則して対応します。
- b. 法令に基づく場合、人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合、公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合、国の機関等への協力をする場合等を除き、来所者の書面による同意なく、その情報を第三者*2に提供しません。来所者の同意を得た場合は、法令、心理臨床の守秘義務の範囲内で提供します。法令等により提供を要求された場合に提供します。
- c. 第三者への提供を行った場合は、提供の年月日、受領者の氏名等を記録・保存します。

(*2 第三者とは、情報主体及び受領者(事業者)以外の者をいい、個人情報保護法第23条第5項に定める場合を除きます。)

(4) 適正な取得

- a. 相談室は、来所者の個人情報を、上記の法令、心理臨床の守秘義務の範囲を超えて不正な手段で取得することは絶対にしません。
- b. 来所者に個人情報の提供をお願いする場合には、上記の法令と利用の目的に従い、相談活動に必要と判断した場合に来所者の同意を得た上で行います。
- c. 第三者から来所者についての個人データ（要配慮個人情報を除きます。）の提供を受けた場合は、提供者の氏名、取得経緯等を確認した上で、提供の年月日や確認事項を記録・保存します。

(5) 安全管理措置

相談室では、次に掲げるように、相談活動に関する全ての個人情報の安全管理措置を取っています。個人情報については、正確かつ最新の状態に保ち、情報の漏えい・紛失・破壊・改ざん、又は、来所者の個人情報への不正なアクセスを防止することに最善を尽くします。

- a. 個人情報保護に関する規定を公表しています。
- b. 専修大学「個人情報保護方針」に従い、個人情報保護管理者等を定め、個人情報保護推進のための組織体制等を定めています。
- c. 専修大学「個人情報保護方針」に従い、個人データの漏えい等の問題が発生した場合等における報告連絡体制を定めています。
- d. 相談室は、全相談員がその遵守のための研修を受ける体制を設けて、その実践の努力を行っています。
- e. 紙に記録された個人データ又は外部記録媒体に保存された電子化された個人データは、鍵のかかるカルテ庫に保管する、相談室とカルテ庫の入退室管理を行う等、物理的な安全管理措置を取っています。
- f. 電子化された個人データは外部ネットワークに接続されていないサーバーに保管する、外部ネットワークに接続できないパスワード認証が必要な端末を利用する等、技術的な安全管理措置を取っています。
- g. 相談活動に必要な個人情報を記入する書類や、相談活動で生じた事実の記載、統計などの書類は、相談室で制定する定型で処理を行います。これらの定型は、大学の個人情報調査票に登録され、適正な管理を行っています。
- h. 不要となった個人データは、サーバーからの個人データの消去、溶解処分等によって、適切に廃棄します。

(6) 開示・訂正・削除

当相談室は、来所者の個人情報について来所者自身から開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、相談室の設置目的と判断に従って対応します。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し、相談室の判断を基に適切に対応します。

(7) 苦情対応・個人情報の取り扱いに関する問合せ窓口

相談室では、個人情報の保護に関するお問い合わせに応じております。また、相談活動に関する質問や苦情についても、適切な対応します。

この取組は、法人の「学校法人専修大学の個人情報取扱いについて」に宣言する「個人情報保護方針」（学校法人専修大学個人情報統括管理責任者・理事長）に準じる方針です。法人規定に従って、平成 18 年 2 月 1 日に個人情報保護委員会事務局（文書課）へ届け出て以降、相談室の個人情報部門責任者を室長、個人情報業務責任者を平成 26 年度以降文学研究科委員（主幹）とし届け出ています。なお、法人の規定する個人情報保護規程第 9 条に規定する要求事項に関する責任の内容については、相談室規程及び規程細則を参照してください。

学校法人専修大学の個人情報に関する苦情その他の問合せ先：

専修大学個人情報保護委員会事務局（総務部文書課内）

Tel 03-3265-7849（平日 9:00～17:00）

Email privacy@acc.senshu-u.ac.jp

HP http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/inquiry/persinfo_counter.html